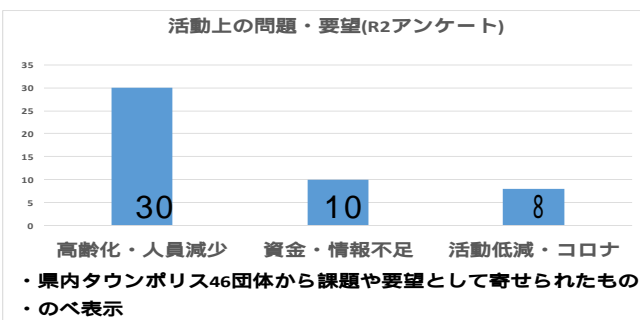


定例会議資料	防犯ボランティア及び事業者との協働による防犯活動等について	令和5年8月9日 生活安全企画課
--------	-------------------------------	---------------------

1 防犯ボランティア団体が抱える課題

- ・ 構成員の高齢化や減少
- ・ 資金や情報の不足
- ・ 活動の自粛や停滞



2 新たな取組

- (1) 団体の広報を支援
- (2) 防犯ボランティア体験を通じた若い世代への訴求

3 広報支援について

高知県ボランティア・NPOセンター（以下「ボラセン」という。）が運営するボランティア総合情報サイト『ピッピネット』において、

- ・ 防犯ボランティア募集の登録
- ・ 「高知県タウンポリス連絡協議会」を紹介

4 「夏のボランティア体験キャンペーン」(通称ナツボラ)への参画

(1) 内容

「ピッピネット」では、学生の夏休み期間中における活動体験キャンペーンを企画しており、これに参画して「特殊詐欺被害防止広報啓発活動」での募集を行ったところ、高校生・専門学校生18名が応募

(2) 連携のスキーム

警察がハブ（結節点）となり、関係機関と連携を強める取組を展開

(3) 関係機関

- ア ボラセン
- イ 富国生命保険（相）高知支社
- ウ （公社）高知青年会議所
- エ （公社）高知県防犯協会

(4) 連携内容

- ア 広報用物資の提供
- イ 広報機会の提供
- ウ 協働による広報啓発活動 等

(5) 広報啓発活動予定

- ア よさこい祭り（8/10、8/11）
- イ 特殊詐欺被害ゼロの日（8/30）

